

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2023年 10～12月期の景況 / 2024年 1～3月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は緩やかに回復している

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2023年10～12月期の実績と2024年1～3月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より5.5%の回復となった。業種別では、建設業は▲25.0%から▲7.4%へ、卸売業は▲15.0%から▲10.0%へ、小売業は▲11.8%から0.0%へ、サービス業は▲3.6%から0.0%へと回復した。製造業は▲5.6%から▲22.2%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は42.0%、来期設備投資を実施予定の企業は37.5%であり、今期よりも4.5%減少する見込みである。

経営上の問題点については、全産業で「従業員の確保難」が上位に挙げられた。製造業と小売業では「需要の停滞」が今期新たに挙げられた。また、サービス業以外の業種で「仕入単価の上昇」が上位に入り、サービス業では「人件費以外の費用の増加」が上位に挙げられた。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指数を合成して算出する。

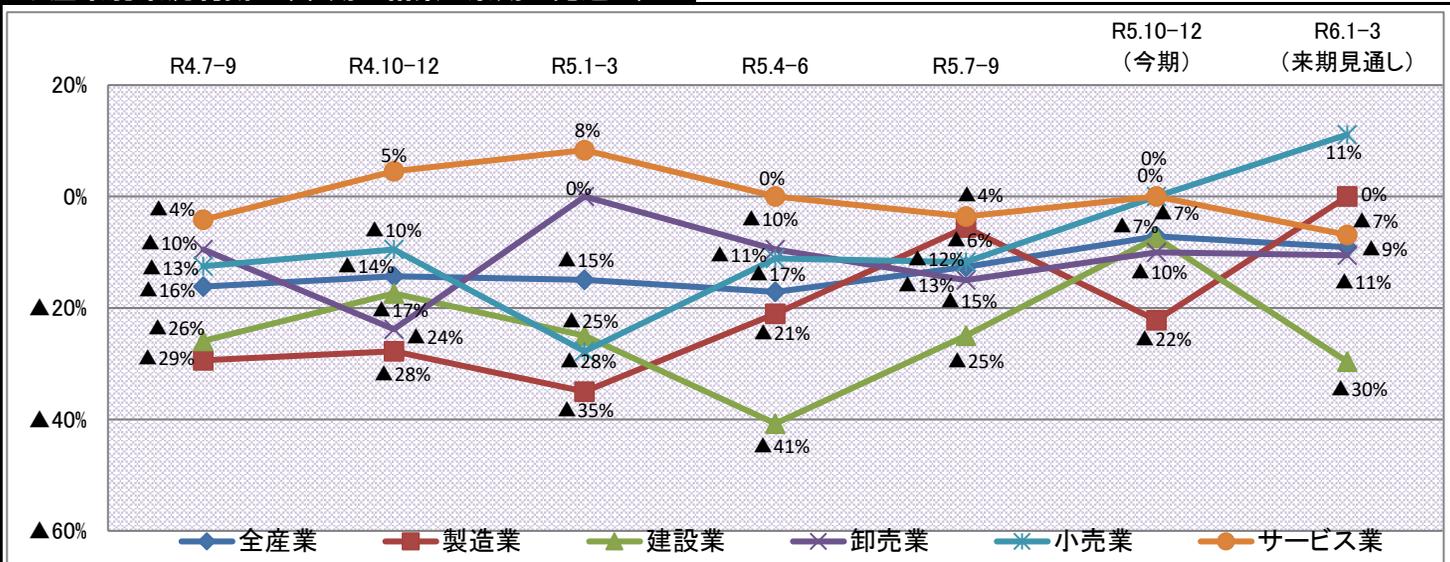
DATA

- 調査期間: 令和5年12月11日～12月22日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業130社
- 有効回答企業数: 116社(89.2%)

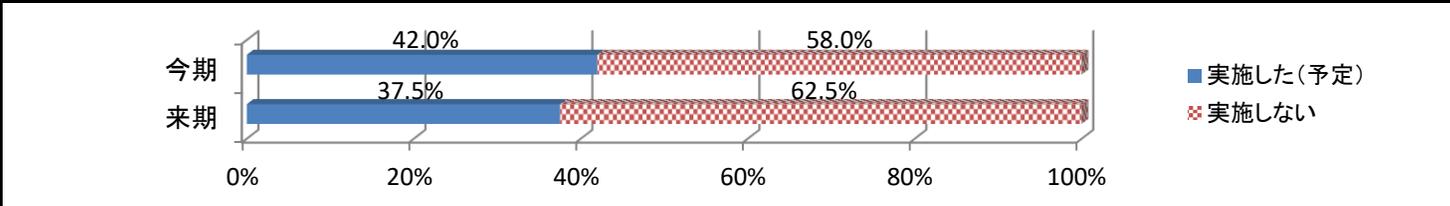
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲7.1%	5.5%	8.7%	6.9%	▲11.4%	▲4.3%	▲16.5%	▲1.8%	▲8.0%	▲1.7%
製造業	▲22.2%	▲16.7%	10.0%	▲1.8%	▲10.0%	▲4.4%	▲35.0%	▲35.0%	▲15.0%	1.7%
建設業	▲7.4%	17.6%	10.7%	32.1%	▲14.3%	0.0%	0.0%	22.2%	▲3.6%	17.9%
卸売業	▲10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	0.0%	▲5.0%	▲15.0%	▲5.0%	10.0%	▲5.0%
小売業	0.0%	11.8%	▲5.6%	▲5.6%	▲16.7%	▲16.7%	▲27.8%	▲21.9%	▲17.6%	▲23.9%
サービス業	0.0%	3.6%	17.2%	▲3.4%	▲14.3%	▲0.5%	▲13.8%	11.2%	▲14.3%	▲7.4%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 17.5%	従業員の確保難 19.8%	従業員の確保難 22.2%	仕入単価の上昇 15.2%	利用者ニーズの変化への対応 18.3%
2位	原材料価格の上昇 15.8%	材料価格の上昇 18.5%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化 14.8%	従業員の確保難 15.2%	従業員の確保難 14.6%
3位	生産設備の不足・老朽化 12.3%	熟練技術者の確保難 13.6%	仕入単価の上昇 14.8%	消費者ニーズの変化への対応 13.0%	人件費の増加 13.4%
4位	需要の停滞 12.3%	官公需要の停滞 9.9%	人件費の増加 11.1%	需要の停滞 13.0%	人件費以外の費用の増加 11.0%